

## 高畑誠一の葬儀（日商岩井の社葬）における鈴木治雄太陽鋳工社長の弔辞

謹しみて高畑誠一会長の御遺業を偲び太陽鋳工株式会社を代表してお別れの言葉を申し上げます。

高畑会長は明治 42 年神戸高等商業学校を御卒業、合名会社鈴木商店に入社せられ、金子翁を援けてロンドン支店長の重職にあられましたが、一方、大正 8 年以來鈴木商店の子会社である太陽曹達株式会社の取締役として当社の母体を育成して下さいました。その後、太陽曹達を太陽産業と改称し、終戦による処理としてその第二会社を設立し、初代社長となられ、当時の国策に応じて鋳業及び工業の発展を支える会社という意味で太陽鋳工株式会社と名付けられたのであります。爾来 30 年、社長或は会長として、世界経済の視点から堅実経営による社会奉仕を教示せられ、自らもこれを率先躬行されたのであります。お蔭をもちまして太陽鋳工は、今や、近代工業に欠くことのできない品々を手掛けて堅実な歩みを続け得るに到りました。これ偏に、会長の時代を先取りされる深い御洞察力の賜物と感謝致しております。

会長は、当社の外、日商岩井株式会社を始め、吾が国における代表的大会社や旧鈴木系の会社 10 数社を、卓抜な手腕を以て経営指導されました。その豊富なる企画創造力と強靱な御意志とに、私達は、ただ畏敬の念を抱くのみでありました。会長は、又企業だけでなく、国家社会のために御貢献された業績も多く、第一次大戦には三国貿易を以て、広く戦時国家における物資調達の要請に応えられ、第二次大戦では、戦後の荒廃した日本経済復興のための民間外交を展開されました。そしてつい最近まで、各経済団体の会長または理事として広く財界に関与しておられました。

このように会長は、財界人としての偉大な御貢献によって昭和 36 年藍綬褒章、昭和 37 年紺綬褒章、昭和 40 年には勲三等瑞宝章を受章しておられます。

ご趣味としてはゴルフをなさいましたが、会長におけるゴルフは単にご趣味の域に止まるものでなく、日本ゴルフ界の草分け的存在として、健全なゴルファー育成のためのルール作りや、ゴルフ場の開設等を通じて吾が国に於けるゴルフの隆盛を醸成されたのであります。

このように、会長が赴かれる処、総て国家・社会に広く貢献されたものばかりで、私達は、この偉大なる会長を戴くことを誇とし、恰も慈父の御庇護の下にあるような安堵感の裡にありましたが、会長には、不幸にして病の侵す処となり病床に伏され、私達は秘に憂慮を深めておりました。近年、資源有限時代を迎えその再利用という

新しい事業を、企図せられましたが、プラントの完成を目前に控えた今、病状にわかに<sup>かあらたま</sup>革り、享年 92 才を以て天寿を全うせられ、再びその<sup>おんよう</sup>温容に接することができなくなりました。<sup>まこと つうせき</sup>洵に痛惜の限りでございます。

私達一同御生前の御遺志を<sup>たい</sup>体し、悲しみを乗り越えて社業発展のために一致邁進いたしますことを御霊前にお誓い致します。何卒天の一角にあって、会長の霊の御加護とお導きが、何時迄も私達の上にあります様、<sup>こいねが</sup>希うものであります。

御家庭にあっては<sup>しし</sup>嗣子、<sup>しげゆき</sup>薫幸様始め、お孫様方も<sup>それぞれ</sup>夫々財界に於ける重要な地位にあられ、御夫人千代子様にはこれらの方々の御孝養によって、高畑家の御繁栄は<sup>こうこ</sup>後顧の<sup>うれい</sup>憂なく守り継がれるものと存じます。

今も<sup>なわ</sup>猶私共の<sup>まぶた</sup>瞼の裏に刻み込まれたあなたの<sup>おんがん</sup>温顔に最後のお別れを告げなければならぬ悲しみに耐え、今はただ永遠の眠りにつかれた会長の霊の安からん事をお祈り申し上げるのみであります。

会長 何卒安らかにお眠り下さい。

昭和 53 年 10 月 4 日

太陽鋳工株式会社

社長 鈴木治雄